

2016 - 17 年度 RI テーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

Rotary International
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

良き出会いを大切に！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：中澤 剛
●幹 事：高橋 広一
●会報委員長：上山 惣太

今週のプログラム

第2139 回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「我等の生業」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑤ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑥ I MRD進捗報告
石川 義一 I M実行準備委員長
- ⑦ 閉会 点鐘

☆例会前：第3回 I MRD 実行委員会

★例会後：緊急臨時理事会

*6/24 (土)

I M第4組ガバナー補佐経験者懇親会

於：セラトン都ホテル大阪 20階「ローズ」

18:30~20:30

鈴木 洋 元ガバナー補佐 出席予定

来週の予定

第2140 回移動例会 6月30日 (金)

2016~17 年度最終例会

会員懇親会及び退会式に伴い、場所変更

於：かがやき 地下1階 ミーティングルーム

☆卓話 「今年度の回顧」

中澤 剛会長・高橋 広一幹事

☆皆出席祝 34年 鈴木 洋会員

☆2016~17 年度下半期 H C 皆出席祝

石川 義一会員・高橋 広一会員

★会員懇親会及び退会式 13:30~

於：かがやき 地下1階 ミーティングルーム

前週の例会記録

2017年6月16日 (金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備 考
第2138回	28名	16名	72.7%	出席義務免除 7名(出1)
第2136回	28名	20名	87.0%	補 填 0名

ニコニコ箱

●安田会員、卓話よろしくお願ひします。

中澤 剛会員

●安田さん、卓話ご苦労様です。 奥田 長二会員

●来期もニコニコ・米山特別寄付前払いよろしく！

鈴木 洋会員

●安田さん、卓話よろしくお願ひします。

前回欠席してすみませんでした。

大橋 秀造会員

●先週、クラブ協議会欠席のお詫び。

長尾 穰治会員

●安田さん、卓話ありがとうございます。

柳 敬二会員

★例会場：山徳 TEL:072(922)2014 ★例会日時：毎週金曜日12時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 八尾光町駅前ビル内 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●今回合計 6,000円

●累計 778,512円

会長の時間

本日は、ロータリー最初の条文について、調べてみました。

クラブの名称が定まり、定期的な集会が開かれるようになったもののそのクラブの会則（規定条文）が文章で示されたのは、1906年1月になってからのようです。

その条項は、

1. クラブ・メンバーの事業利益を増大すること
2. 社交クラブに付随する親睦その他の必要事項を推進すること

の2項目から成るものだったとの事です。

この条文は、長年にわたって「綱領」と呼ばれていたようですが、後にロータリー・クラブとしての最初の定款の「目的」条項となったとの事です。

上記第1項は、会員間の商取引の増進によってもたらされ、相互扶助活動という初期ロータリーの看板となったようです。それは、ロータリアンとしての信用を背景に、相手に利する取引を積極的に推奨するロータリーという集団が、斬新で魅力的な団体として人々の関心を集めたとの事です。

第2項は、親睦を謳っており、ロータリーがクラブと称することによって自動的に付与される性格との事です。英米でクラブと称するものは、自治を重んじる民主主義の母体であるという考え方や趣味やスポーツ等を通じ、集まった人々が人間的交流を楽しむというのがクラブであると捉えられているとの事です。よって、当時のロータリーとは、相互扶助活動をする人々の「活動の場」ではなく、その人々の「交流の場」であったようです。

このように、我々も「交流の場」を意識して今後のロータリーでの活動を続けていかなければならないと感じています。

幹事報告

- ①山徳での例会は次週（6/23）が最終日となります。6/30（金）はかがやきでの例会となりますのでお間違えのないよう宜しくお願いします。

卓話

「事業継承について」

安田 憲司会員



- ①日本の国内小規模事業者の現状

1. 全事業者数の99.7%が中小企業、全従業員の70%が中小企業に就業。
2. 事業者数では、製造業が11%にとどまり、卸・小売業やサービス業が約65%。

- ②2014年度事業者数

大企業 11,000社（0.3%）従業員数 14,330,000人（29.9%）

中小企業 3,809,000社（99.7%）従業員数 33,610,000人（70.1%）

※うち小規模事業者 3,251,000社（85.1%）従業員数 11,270,000人（23.5%）

- ③国内事業者数の推移

1999年度は4,837,000社の事業所がありましたが、2009年は約4,200,000社、2014年度は3,809,000社と、ここ15年で約100万社も減少。2017年度、中小企業・小規模事業者は、さらに減少している。

- ④傾向としては、以前は赤地倒産が主流だったが、最近では事業継承の後継者がいなくなり、休業・解散が高水準で推移。（特に小規模企業の廃業が多い。）

⑤経営者の高齢化と廃業

1. 特に中小企業経営者（オーナー経営者）の年齢は高齢化しており、直近の経営者引退年齢は、中規模企業で 67.7 歳、小規模事業者では 70.5 歳となっている。

特に休廃業・解散企業のうち、経営者が 60 歳以上、80 歳以上の企業割合は過去最高。

2. 休廃業・解散企業のうち後継者難による廃業の可能性。

60 歳以上の経営者の内、50%超が廃業を予定しており、特に個人事業者においては、約 7 割が「自分の代で事業を辞めるつもり。」と回答している。また、「子供に継ぐ意思がない。」「子供がいない。」「適当な後継者が見つからない。」との後継者難を理由とする廃業が合計で 28.6%を占めている。

これは日本国内産業、特に製造業で、日本のお家芸であるものづくり現場にとっては深刻。

※特殊技術の継承が出来ないので、ある日突然、その高度技術が消える。（空洞化。）

日本の将来、人口減少と並行して、高度特殊技術の消滅は、国家の衰退を意味するものであり日本の将来について、非常に深刻な問題である。（この件について、国はもっと力を入れてほしい。）

⑥経営者の年齢と特徴。

1. 経営者の年齢が上がるほど投資意欲の低下やリスク回避性向が高まる。

2. 実際に、経営者が若い世代に交代した企業の方が、わずかだが利益率も向上させており、売上高を増加させる傾向にある事は間違いない。

⑦事業継承に関する課題。（特に、零細小規模、中小企業の場合。）

1. 親族、特に子供が、事業継承をすることが最も理想的。

2. 親族がない場合は、事業の売却・統合（M&

A）も、重要な選択技。

3. 一般には、従業員の雇用維持の他、会社の発展を重視する経営者が多い。

4. しかし課題が多く、準備・対策は進んでおらず、専門家に相談する割合も低いので、こうしたニーズをとらえ、多様な課題に対応できる支援体制が、地方・民間・国家的に必要。

※ドイツは、マイスター制度等を以前から導入し、高度技術の継承者保護を国家的に推進している。

日本は国会では、足の引っ張り合いばかりでとんとそんな気が無い議員ばかり。

特に野党はひどすぎる。（国会議員の資格なし。）

⑧弊社、株式会社ユタカの後継者への取組み。

1. 現在社長の安田憲司は今年 66 歳、34 歳で事業継承し、地場産業のねじ・ボルト・ナット等を始め、IT 関連、自動車重要部品、その他の検査装置ニッチ産業トップメーカーとして、現在に至る。

2. 長男が 3 年前より、次女が昨年入社し、数年後には事業継承を長男に譲る計画を、現在進行中。

⑨現在社長の安田憲司は事業継承なれば、以前から注目していたエネルギー問題の研究と発展に、元気である限り取組む所存。（32 年前は、武道家になりたかった夢がとん挫したが、次は何とか夢を実現したい。）

1. 人間生きている限り、目標と夢を持ち続けることが大事であり、元気でいられると思います。

以上で、私の卓話を終わります。



第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB